

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



再野生化する地球で

人類が生き抜くための大転換

進歩の時代において人類は

地球の恵みを収奪し、商品化し、消費を最大にして生きてきた。だが、無限の成長と超効率化を絶対視したことで、環境危機と地球温暖化が発生。洪水、干魃、熱波、山火事、台風が生態系とインフラを破壊し、人類を脅かしている。

この危機を脱するためには必要なのは「レジリエンスの時代」への大転換。地球を人類に適応させるのではなく、人類を地球に適応させるのだ。自然と共感的に関わるためには経済、政治、社会の見直しが必要。

外の世界への

意識

直観力を高める

心を静め、耳を澄ます。

ネガティブな感情を抑える。

身体ワークをする。

実行機能が過剰にならないようにする。

切り替える力の基本

すばやく変化に気づき

最適に対応するための人生戦略

一変化を受け入れる

行動を変えなければならないこと。

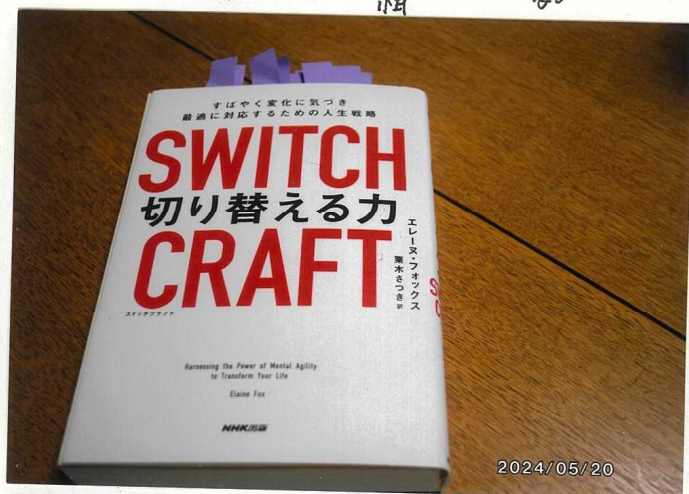
二、予測できない状況への対応

は素早くしなやかさへの不安に慣れる

三、進化のなかの適応力 脳と身体のコミュニケーション

四、レジリエンスと切り替える力

立ち直る力を発揮できる人はなにか違う。



まとめ

周囲の状況に対する蓄積された知識、感受性や認識力は、から生ずる。そして直観を高めるための分野で、経める舞台を築く。

経験を重なることで蓄積された知識

経験の幅を広げれば、状況に対する感受性を高め、敏感な状況を認識できるようになる。周囲の環境をより正確に把握し、適応を決定する。周囲の騒音と同様に、頭の中のおしゃべりを静め、一人になれる時間と場所をつくる。直観の声に耳を傾ける。